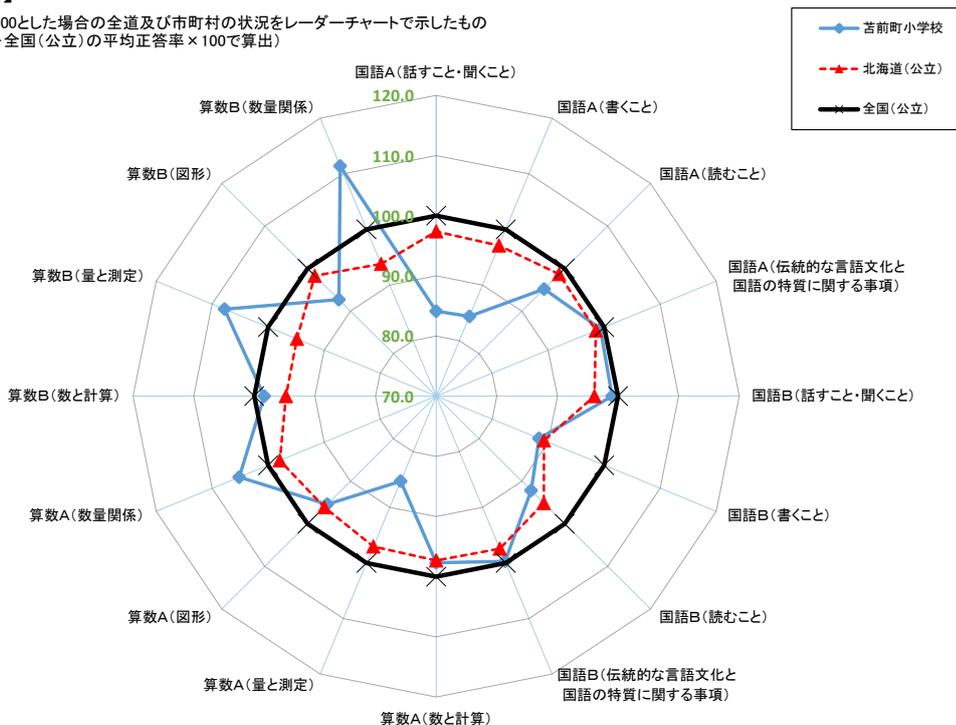


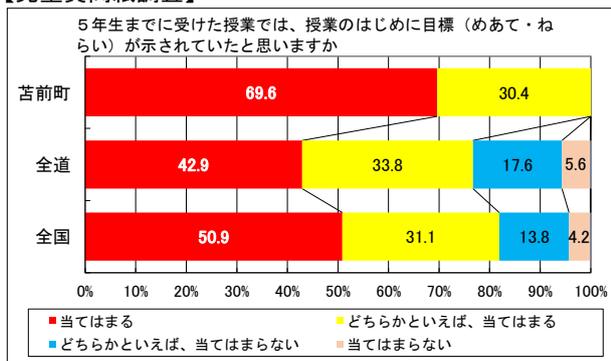
■ 苫前町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:23名)

【教科全体の状況】

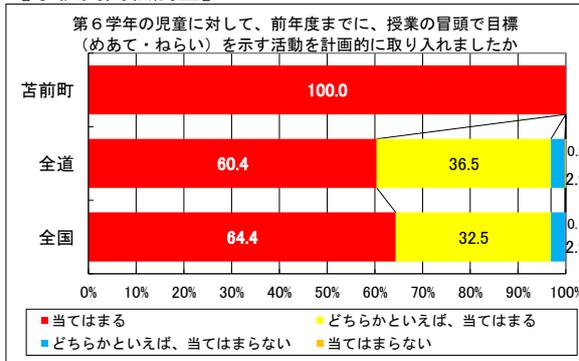
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数Aの「数量関係」、算数Bの「量と測定」、「数量関係」が全国を上回っている。	○ 各学校で、授業の冒頭に本時のねらいを示すことについて徹底を行うとともに、ねらいに正対したまとめを行うなどの授業改善を推進した結果、算数の力が身に付いてきたと考えられる。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業では、授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」に、全ての児童が「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを回答している。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れている。	

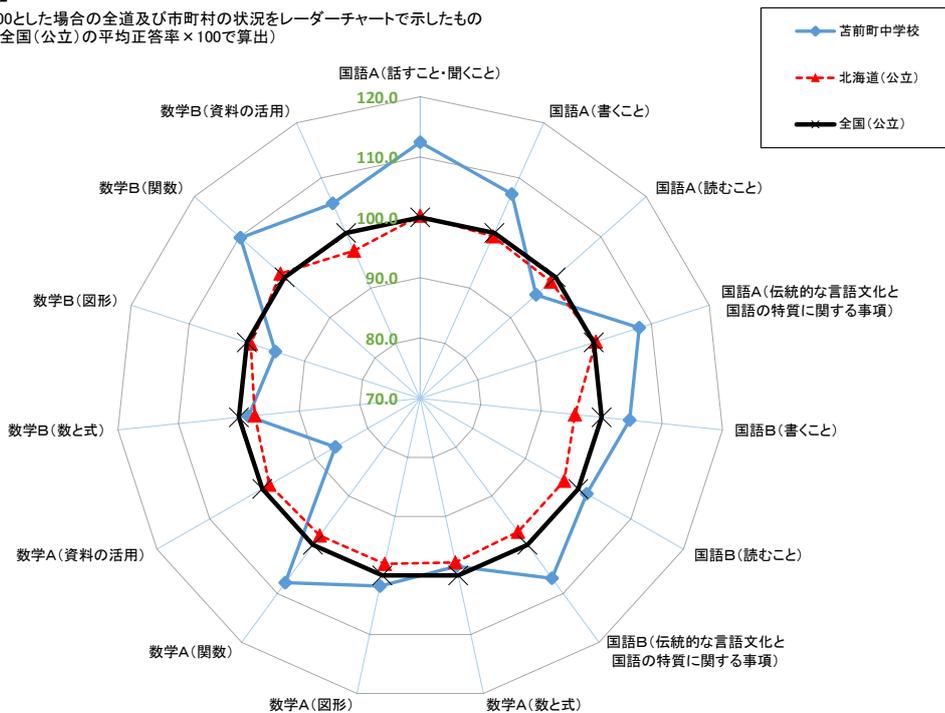
【苫前町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置
- ◎ 長期休業中の学習サポートの充実に向けた学校支援体制の構築
- ◎ 各学校と連携した、町における全国学力・学習状況調査の結果分析による、改善方策の策定

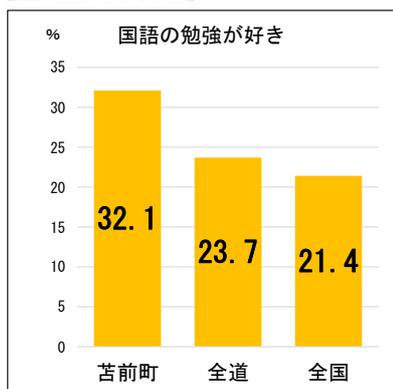
■ 苫前町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:28名)

【教科全体の状況】

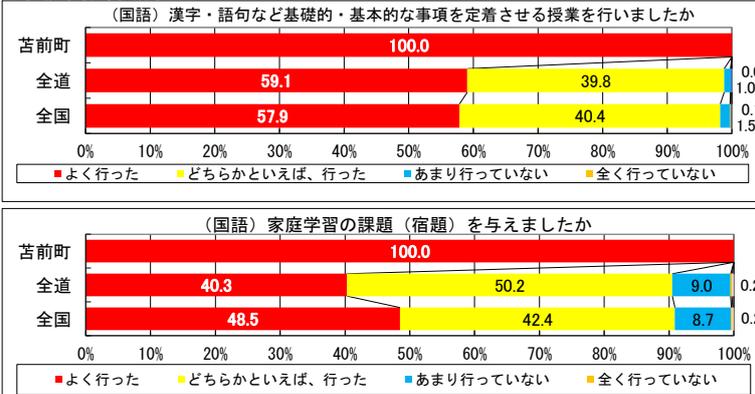
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの全ての項目、数学Aの「図形」、「関数」、数学Bの「関数」、「資料の活用」が全国を上回っている。	○ 各学校で、基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行うとともに、国語の家庭学習をよく与えるなど、指導の充実を図ってきたことにより、国語の勉強が好きな生徒が多くなるとともに、国語の力が確実に身に付いていると考えられる。
生徒質問紙	○ 国語の勉強が好きという生徒の割合が、全道、全国より多い。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っている。 ○ 全ての学校が、家庭学習の課題(宿題)を与えている。	

【苫前町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置
- ◎ 長期休業中の学習サポートの充実に向けた学校支援体制の構築
- ◎ 各学校と連携した、町における全国学力・学習状況調査の結果分析による、改善方策の策定